

# 緊急赤潮情報 8

令和5年8月4日  
大分県農林水産研究指導センター水産研究部

別府湾でコクロディニウム・ポリクリコイデス(有害プランクトン)が注意密度を超えています。また、シャットネラ類、カレニア・ミキモトイも確認されます。魚介類の管理に十分注意して下さい。

発生場所 別府湾奥  
プランクトン種類 コクロディニウム・ポリクリコイデス  
46 細胞/ml (表層)  
発生期間 令和5年8月4日～  
※詳細は別添参照

(コクロディニウム・ポリクリコイデスの注意点)

- ・ 警戒密度：300cells/ml 注意密度：30cells/ml
- ・ コクロディニウム・ポリクリコイデスは魚介類に斃死を引き起こす有害な赤潮プランクトンです。
- ・ 鉛直運動するため午前中に海色がよくても、午後から着色し被害が発生することがあります。(中層で赤潮になっている)
- ・ パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動し養殖、蓄養中の魚介類に被害をおよぼすことがあります。
- ・ コクロディニウム・ポリクリコイデスは低密度でも被害を引き起こす可能性があります。

赤潮発生場所での対応

- ・ 投餌は控える。
- ・ 赤潮海域へ魚介類を入れない。
- ・ 赤潮海域から魚介類を避難する。
- ・ 畜養は控える。

St. 30  
コクロディニウム・ポリクリコイデス  
46 細胞/ml (表層)

